

**2012年7月石原社長定例記者会見概要**

7月4日午後3時から、石原社長による定例記者会見が、放送センター20階役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

<編成関連>

4月からの1クールでは、残念ながら、視聴率はゴールデン・プライムで二桁に届かないという厳しい状況が続いた。バラエティ番組の中に、伸び悩んだままのものがいくつかあるため、現場で企画強化など改善策を実施している。日曜劇場『ATARU』が平均視聴率15%を超え、若い方々を中心に多くの話題を呼んだヒット作となるなど明るい材料もあった。

スポーツでは、『ロンドン五輪バレーボール世界最終予選』がTBS放送担当分で14.7%を記録、前回北京大会を1.4ポイント上回り、6月20日のボクシング『WBC・WBA世界ミニマム級王座統一戦』も18.2%の高視聴率となった。サッカー『EURO2012』も好評だったので、このスポーツの良い流れをロンドン五輪につなげていきたい。

また、震災から1年以上が過ぎたが、昨年が続いて音楽の力で元気を出していただこうと、7月14日土曜日の夕方から大型音楽番組『音楽の日』を、SMAPの中居正広さん、安住紳一郎アナウンサーの司会でお届けする。東北地方からの熱い歌声にもご期待いただきたい。

<ロンドン五輪>

メインキャスターも2004年アテネ大会から5大会連続で中居正広さんをお願いする。TBSの放送は柔道やレスリングなどで、日本人選手のメダル獲得が期待できるので楽しみにしている。テレビだけでなく、民放共同で「民放テレビ共同公式動画サイト」を展開するが、TBS独自のオリンピックサイトもこれに連携して盛り上げていく。

放送権料が高騰し、営業的に厳しい状況にあることは確かではあるが、JCの枠組みを維持した中で努力していきたい。

<営業関連>

第一四半期のタイムセールスは、ネットタイムのレギュラーは前年並みの売上を確保した。今年は『バレーボール最終予選』、サッカーの『EURO2012』と大型単発があったため、前年実績を上回る見込みだ。ローカルタイムセールスは前年実績に届かない見込みだが、ネットとローカルをあわせたタイム売上では、前年実績を上回る見込み。7月以降は、ロンドン五輪が最大のセールスとなるが、現状では「世界陸上」のあった前年並みの売上を見込んでいる。

スポットセールスは、4月、5月は前年の震災の反動で東京地区の投下量が前年比で130%、前々年比でも110%以上の伸びを示した。しかし6月以降は、伸びが落ちており、6月の前年比、前々年比はともに100%前後だ。7月以降は、まだ前年100%が見えておらず、不透明な状況。ヨーロッパの経済不安も収まっておらず、広告市況の動向を注意深く見守りながら、機動的に対応していきたい。

<事業関連>

映画は9月にベストセラー小説を原作とした「天地明察」、11月には震災で公開を延期していた「のぼうの城」を公開する。さらに12月には大変好評だった映画「大奥」の第二弾、「大奥～永遠～」を公開する予定で、大いに期待している。

正月に公開された「麒麟の翼～劇場版 新参者～」のブルーレイディスク/DVDを、今月27日に発売する。今のところ、初動はセルおよそ2万4,000セット、レンタルも4万本に迫る期待以上の勢いだ。また、10月発売の「SPEC～天～」も、予約を開始したところ、早くもアマゾンのランキングで10位以内に入った。テレビ局ならではの強みを生かし、今後もソフトのマルチユースの観点で積極的に取り組んでいきたい。

3月からの「インカ帝国展－マチュピチュ『発見』100年」が、95日間の会期で、45万6,000人を超える入場者数を記録した。これは、過去20年に国立科学博物館で開催された文明・考古学をテーマにした展覧会の中では2番目に多い数字で、7月6日の仙台から、再来年の2月まで全国展開する。

6月13日からは上野の国立西洋美術館で、ベルリン国立美術館展が始まっており、今月12日からは東京藝術大学美術館で「草原の王朝契丹－美しき3人のプリンセス－」が、また19日からは、国立科学博物館で特別展「元素のふしぎ」が始まる。こちらは、現在知られている118種類の元素をめぐって科学の面白さや奥深さを体感できる、夏休みにぴったりの展覧会だ。

<TBSR&C> 入江社長

ロンドンオリンピック関連、民放ラジオ統一番組は事前2ベルト、開幕後3ベルトを放送。またTBSから現地に記者2名を派遣し、スポーツジャーナリスト生島淳さんにも現地から情報を入れていただく。中継は、女子マラソンと、男女サッカー日本戦で準決勝以上を予定している。10年前の2002年7月から継続している「TBSラジオ環境キャンペーン」、第21期となる今回は7月16日からの1週間、特別番組とワイド13番組で環境問題を取り上げていく。

土曜日午後の『久米宏 ラジオなんですけど』が第49回ギャラクシー賞ラジオ部門優秀賞を受賞。ドラマやドキュメンタリーなど作りこまれた作品の授賞が多い中、通常の生ワイド番組が評価されたことをうれしく思っている。

営業関連、4・5月累計でスポットは堅調ながらタイムが苦戦、放送外収入も予算を割り込んでいるが費用面でのセーブがきいて営業利益ベースではほぼ予算どおり。事業関連ではTBSテレビ事業部と共同でライブ音源即売サービス「BLITZ T2D」を開始した。赤坂BLITZでのライブを収録し、終演後観客にシリアル番号付カードを販売、購入者はライブ音源をダウンロードできるというもので、業界からも良い感触を得ており今後期待している。

以上